

欲胡王という名の電車

作 テネシー・
ウイリアムズ
訳 小田島恒志
演出 高橋止徳



出演
山本郁子
鍛冶直人
助川嘉隆
渋谷はるか
中川雅子
大滝 寛
沢田冬樹
千田美智子
柴田美波
西村知泰
磯田美絵
小林勝也

可児市文化創造センターala・小劇場

文学座公演

2022年

11月9日水 18時開演・
10日木 14時開演

主催
可児市文化芸術振興財団
公益財団法人



文学座公演

欲望王という名の電車

作 テネシー・ウィリアムズ 訳 小田島恒志 演出 高橋正徳

上流階級の娘としてアメリカ南部の大農園で育ったブランチ・デュボアだが、零落した彼女は、ニューオーリンズの場末に暮らす妹のステラとその夫スタンリーの貧しいアパートに身を寄せる。しかし、粗野で奔放なスタンリーと現実的なステラの生活は、華麗な過去を忘れられないブランチには想像も出来ないものであった。スタンリーは派手に振る舞うブランチに苛立ちを感じ、二人は反発しあう。そんな中、ステラは新しい命を宿す。ブランチはこの生活から抜け出そうとスタンリーの友人ミッチにすぎる思いで希望を託すが…。

1947年ブロードウェイにて初演、その4年後の映画化を経て、1953年文学座が杉村春子のブランチ、北村和夫のスタンリーで日本初演を果たしました。今回は2019年に『ガラスの動物園』を新訳した小田島恒志そして演出を担当した高橋正徳が新キャスト・スタッフと共に創造します。新たな伝説の誕生をお見逃しなく！



美術 乗峯雅寛
照明 阪口美和
音楽 三枝伸太郎
音響 原島正治
衣裳 小林巨和
アクション 渥美博
振付 神崎由布子
舞台監督 加瀬幸恵
演出補 大内一生
制作 梶原優
最首志麻子
白田聡
宣伝美術 三木俊一
(文京邸家産)
アートワーク 中山晃子

テネシー・ウィリアムズの最高傑作にして、アメリカ演劇の不朽の名作

可児市文化創造センターala・小劇場

2022年11月9日(水) 18:00開演 / 10日(木) 14:00開演 ◎開場は開演の30分前

料金 4,000円 ◎25才以下2,000円(全席指定・税込)
*未就学児の入場はご遠慮ください。

発売日 2022年9月10日(土) 9:00より
電話予約は翌11日(日) 9:00より



チケット取り扱い

可児市文化創造センター ala インフォメーション

Tel.0574-60-3050
(9:00~19:00)

火曜休館 / 祝日の場合は閉館・翌平日休み

インターネット予約
<https://www.kpac.or.jp>



インターネット予約対象



WEBページ

おトクなチケット割引サービス

インターネットのみ 窓口・電話



*割引サービスの詳細はアラホームページをご覧ください。

お問い合わせ

可児市文化創造センターala

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139
Tel.0574-60-3311 (9:00~22:30)

火曜休館 / 祝日の場合は閉館・翌平日休み
<https://www.kpac.or.jp>

アラは、全国のトップレベルの劇場として「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の総合支援(全国16施設)に採択されています。

本公演は新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催します。

- ・館内では、マスクの着用をお願いします。
- ・受付時に検温を行います。発熱があった場合、入場をお断りする場合がございます。
- ・当日の混雑防止のため、チケットの事前発売にご協力ください。
- ・厚生労働省による接触確認アプリ(COCOA)のご利用をお願いします。
- ・ご来場にあたり、アラ感染症対策WEBページをご覧ください。

アラ感染症対策WEBページ

<https://www.kpac.or.jp/ala/covid19/>



感染症対策